

病院長就任のあいさつ 内山 聖

本年4月1日、病院長に就任いたしました。専門は小児科で、これまで4年間、医学部長を務めてきました。

新潟大学医歯学総合病院は、前身から数えると百有余年の歴史を持ち、新潟県を中心とした地域の特定機能病院として、

1. 地域に根ざした、豊かな人間性と高い倫理性を備えた医療人を育成する
2. 患者さん本位の安全で安心な医療を提供し、地域医療を積極的に支援する
3. 高度医療、先進医療を提供する

などの目標を掲げています。医学・歯学の分野で、高度で先進的な医療を提供するとともに、医学部・歯学部学生、研修医、医師・歯科医師や各種医療従事者の教育を行い、専門的医療人を育成しています。さらに、臨床や研究面で国際的な水準の維持と向上を目指し、外国人医師、歯科医師、研究者との交流も活発に行っています。毎年、ロシアから数名の医師が内視鏡技術の研修に来院するなど、本院の医療技術の高さは諸外国にも認められています。本院で行っている先進医療を紹介しますと、

1. 血液がうまく循環しなくなった下肢に自己の骨髄細胞を移植し、血管新生を促す治療法
2. コンピューター技術を応用し、むし歯治療用の、いわゆる詰め物を削り出す治療法
3. インプラント義歯
4. 微弱な超音波を骨折部に与えることで骨折治癒を促す治療法
5. 歯周組織再生誘導材料を用いる、短時間かつ低侵襲の歯周外科治療法
6. 腹腔鏡下子宮体がん根治手術

などがあげられます。いずれもわが国における最先端の治療・診断法です。

医療体制の一層の強化を目指し、病院再開発計画の第3期工事として、手術部門、放射線部門、高次救命災害治療センターなどからなる新中央診療棟が昨年秋に完成しました。高次救命災害治療センターは、日本海側初の施設で、重症な救急患者さんへの対応を使命としています。また、この年4月には母体・胎児集中治療管理室MFICUを含む総合周産期母子医療センターがオープンしました。重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険性が高い母体・胎児に対応する設備とスタッフを備えています。今後、第4期工事として、外来診療棟の建設を予定しています。平成24年に完成予定ですが、この間、来院される皆様には、駐車場の不足等でご迷惑をおかけしますことを申し訳なく思います。

新潟大学医歯学総合病院の使命は、患者の皆様への期待と信頼に応え、安全、安心、最適な医療を提供することであると肝に銘じています。そのためにも、皆様方からのご意見やご要望を診療に反映させていただき、常に前進を心掛けたいと願っていますので、いつでもご助言いただくと幸いです。

